

## シンポジウム「ガラス建築 意匠と機能の知識」

### <開催主旨>

ガラス建築は光や熱など自然条件を巧みに利用すると、居住快適性に優れた環境が構築できる建物である。晴天日には晴天の様子が、曇天日には曇天の様子が判る「透明建築」が快良い。光や熱の調整ができる日射遮蔽装置も欠かせない。建物にパッシブな考えかたを取り入れれば、省エネルギーで経常費の少ないガラス建物が構築できる。建物外装から発達しはじめたガラス建築は、内装材や防火性のあるシースルーエレベータシャフト、室内外の展示、ディスプレイに至るまで用途が拡大している。この度日本建築学会から「ガラス建築 意匠と機能の知識」を刊行し、「建築の意匠、構造、設備」の機能とディテールについてまとめてみました。時代の最先端を行くガラス建築について各界を代表する設計者、技術者の方々が執筆しているのも本書の特徴となっています。本シンポジウムは、ガラス建築の発展について幅広く論じることを目的とし、建築に関係する方々や学生の方々にもご理解頂ける内容と致しました。新年早々の開催ですが、ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

主催：環境工学委員会 建築設備運営委員会

日時：2010年1月18日(月) 13:00～16:40

会場：建築会館ホール

プログラム・講演者：

司会：内田敦子（昭和女子大学）

主旨説明：佐野武仁（昭和女子大学）

13:00-13:05

### 1) ガラス建築の各種技術 13:05-14:20

(1) ガラスの製品とその使いかた 新井健一（板硝子協会）

13:05-13:25

(2) ガラス構法 慶伊道夫（日建設計）

13:25-13:45

(3) ガラスの日射遮蔽と快適性 佐々木邦治（三菱地所設計）、堤仁美（早稲田大学）

13:45-14:05

(4) 建築物のガラスのメンテナンス 古橋秀夫（東京美装興業）

14:05-14:20

### 前段の質疑および休憩 10分

司会：高井啓明（竹中工務店）

### 2) ガラス建築の総合計画 14:30～16:10

(1) 意匠と設備の融合ー横浜港大さん橋国際客船ターミナルー 田村圭介（昭和女子大学）

14:30-14:50

(2) 都市建築とガラス 山梨知彦（日建設計）

14:50-15:30

(3) 光とガラスと構造システム 山本理顕（山本理顕設計工場）

15:30-16:10

### 3) 質疑応答 16:10～16:40

閉会 ——16:40——

定員：200名

参加費（資料代込・当日徴収）：会員2,000円、登録メンバー2,500円、会員外3,000円、学生1,000円

\*登録メンバーとは：会員外であって本会「能力開発支援制度」に登録された方

（詳細は日本建築学会ホームページ <http://www.aij.or.jp/jpn/CPD/> を参照）

申込方法：E-mailにて「催物名称、氏名、会員種別（会員番号）、勤務先名、電話番号、FAX番号、E-mail」を明記のうえ申し込んでください。定員に達した場合のみ、お断りのご連絡を差し上げます。

申込み・問合せ：事務局研究事業部 酒井 E-mail：[sakai@aij.or.jp](mailto:sakai@aij.or.jp)